

## 「東日本大震災 災害活動報告」

宮城県石巻市消防団 団長 高橋 和俊



### 1 管内被害状況

石巻市は、宮城県の東部に位置し、人口は約15万2千人（震災前は約16万3千人）で、市の総面積555.78km<sup>2</sup>の広大なエリアに農林・水産・商工業のバランスの取れた都市として発展してきました。

当消防団は、石巻市全域を管轄している消防団であり、平成24年4月に管内7消防団を統合、新たな組織としてスタートし、現在、46分団、2,140名の団員で構成されています。

平成23年3月11日14時46分に今まで経験したことのない強烈な揺れを感じました。マグニチュード9.0、市内の最大震度は6強を観測し、その後に襲来した巨大津波により沿岸部の住宅地、商業地域、漁港のほとんどが流失し、浸水面積は73km<sup>2</sup>となり半島部はもとより、市内中心部のほとんどが浸水するなど、東日本大震災は想像を絶する壊滅的な被害をもたらしました。



津波被害を受けた石巻市（南浜地区）

死者、行方不明者は合わせて3,779名（平成24年3月末現在）となり、最大避難所数259箇所、最大避難者数50,753名を数え未曾有の大災害となりました。

このような状況下におきまして、当消防団員は我が身の危険を顧みず、最後まで住民を守ろうとし水門閉鎖や避難誘導等の消防活動に献身的に立ち向かい、19名の団員が不幸にも殉職されました。消防団の使命を果たそうとしたとは言え、あまりにも残



震災直後の石巻市街地



津波被害を受けた石巻市（大川地区）



搜索活動のため集合した消防団員

念で誠に痛恨の極みであります。また、消防ポンプ置場などの施設にも多くの壊滅的な被害が発生し、団を預かる私としても本当に残念でなりません。

## 2 活動について

当時、石巻市牡鹿消防団長であった私は、市街地を車で走行中に被災し、直ちに消防団員の指揮命令のため消防団事務所のある牡鹿総合支所に向いましたが、途中、巨大津波に遭遇し、車中で一夜を過ごすことになりました。翌朝、牡鹿総合支所へ向いましたが、道路は津波によるおびただしいガレキと地震による隆起や陥没により至るところで寸断され、やむなく車での走行をあきらめ、徒歩で牡鹿総合支所を目指し、到着したのは昼ごろだと記憶しています。



船舶を使用した搜索活動

途中見た街並みは一変し、住宅や工場が密集していた所が全て流失しており、これが私の故郷であるとは到底信じがたい状況で、驚きと深い悲しみを覚え、通信も途絶える中、地域の皆さん方の安否を非常に不安に思いました。

牡鹿総合支所に到着と同時に情報収集に務めようとしたのですが、全てのライフラインが途絶えており、非常用電源は作動していたもののテレビの中継局が破損したため、テレビや携帯電話での情報収集は皆無の状況で、ラジオからの情報が唯一の情報源でした。震災の大きさと自然の猛威を改めて痛感いたしました。

その後、私が管轄する牡鹿消防団で3名が死亡、2名が行方不明となっているという悲報を受けた時は、言い知れぬ脱力感と悔しい気持ちが込み上げてきましたが、被災状況把握の必要性を感じ、道路の寸断等により警察・自衛隊・消防等がまだ現地入りできない状況下の中、私は各地区の道路のガレキを掻き分け徒歩で各地区に向い、そこで地域住民と一緒に力強くガレキ撤去や搜索活動をしている団員を確認でき、安堵するとともに大変心強く感じ、勇気づけられました。

市内の各消防団におきましても、本庁管



海岸付近の搜索活動



関係機関との合同捜索活動

内を担当する石巻消防団では、震災後に発生した家屋火災が津波と一緒に流れ、それが山の斜面に燃え広がり10日間も消火活動にあたりました。河北消防団では継続的に捜索活動を、8月末まで実施しました。雄勝消防団では、海上での捜索活動等を行い、北上消防団では船舶を使用して避難所への住民搬送活動等を行いました。

また、津波被害が発生しなかった河南消防団、桃生消防団では多数の避難者を受け入れるため、避難所の設置や物資・食糧の搬送活動を数週間に渡り行いました。

当消防団員は、自らも被災者でありながら不眠不休、不撓不屈の精神で対応されたことは、正に称賛に値するものであり、このような一騎当千の団員をもった私も、本当に心強く思っています。

### 3 団長からのメッセージ

大震災から1年経過した本年4月1日に指揮命令系統の一本化を図るため、市内7消防団を統合し「石巻市消防団」が誕生し、私が初代消防団長を拝命いたしました。

今般の大震災により多くの団員を失うことになりましたが、生かされた私たちは、志半ばにして亡くなられた団員の意思を継ぎ、全力で消防活動に当たる決意しております。

発災直後より石巻市や当消防団に対し、



海岸線の捜索活動

全国各自治体や多くの消防団から、心温まる人的・物的な御支援を賜り心より御礼申し上げます。

（財）日本消防協会を通じ、全国より消防車両を手配いただき23台の消防車両を配備させていただきました。また、多くの自治体、企業からも消防車両や消防設備を御寄附いただき、防災力・消防力の低下を防ぐことができました。

災害はいつまた私たちを襲うかも知れません。石巻市を私たち自身の手で守るために、今こそ私たち消防団員を初めとし、全ての市民が力を合わせて安全なまちを築いていかなければなりません。その成果を示すことこそが、全国からいただいた暖かい支援に対する答えであるものと思います。

結びに、多くの御支援をいただきました全国の関係者皆様に心から御礼を申し上げ、活動報告とさせていただきます。



海岸捜索のため集合した消防団員